

高退協ニュース

No.235
2022年
3月1日
発行
高知協
高知事務
局

〒780-0850

高知県高等学校退職教職員協議会
高知市丸の内2丁目1-10
高知城ホール高教組気付
連絡先 TEL 088(8222) 6822
郵便振替口座 0165032511893



2022 高退協 新春初歩き



皿ヶ峰にて 2022.1.5

高退協初歩きに 参加して



結城 条

2022年1月5日、快晴とはいえませんでした。良い天気の下で高退協初歩きに参加しました。実際に歩くのは、これが2回目です。

昨年は一桁の参加者でしたが、今回は15名の参加者がありました。親子で参加の方や久しぶりにお会いする方々がいて、賑やかな新年のスタートになりました。 天気は良かったものの気温が低く、こんな時はどんな服装にしたものか迷ってしまいました。結局、予定よりも薄着にして、その代

15名の参加 にぎやかに新年のスタート

わりにインナーには近年流行りの発熱ベストを着ることにしました。 集合場所写真撮ったから、小松隊長を先頭に出発しました。途中ですれ違う方々にはこやかに挨拶を交わしてくれ、気持ちと同じくする者同士の、とても爽やかな瞬間を感じることができました。 皿ヶ峰までの道のりは30分程度ですが、昨年歩いたにもかかわらず勾配がきつく感じられ、日頃の運動不足を痛感しました。皿ヶ峰は、名前のとおり360度を見渡せる場所です。「あつちは何々」「こつちはどこそこ」と話することも、この場所ならではの楽しみだと思えます。 今回は、米満別動隊

コロナ禍を乗り越え気兼ねなく初歩きと新年会が催されますように

長の先導によるオプショナルコースができました。神田の和霊神社をスタートし、烏帽子山方面を目指すコースで、上手いこといけば筆山出発コースと山頂で合流予定でした。残念ながら私は皿ヶ峰で早々と引き上げたために、その後の詳細は分かりませんでした。無事に合流できたとの報告がありました！ 新型コロナウイルスの影響で、今年も新年会とセットすることができませんでしたが、1月中旬からはさらにオミクロン株が猛威を振るうようになり、毎日のように感染者数が増え続けている状況が続きました。これから先もどうなることか分かりませんが、1年のスタートとしてこの行事が、気兼ねなく新年会とともに催されるようになることを、切に願っています。

民主主義を守る 取組を一緒に

2021年度高退協新加入者

- | |
|-----------|
| 生田 和恵 さん |
| 中藤 美紀 さん |
| 町田 詔子 さん |
| 竹村 眞 さん |
| 中村 範文 さん |
| 宮原 比登志 さん |
| 堀 良一 さん |
| 山崎 吉廣 さん |

退職直後の方から、退職後数年経過された方、また北海道からのインターンの方等、多様な皆さんにご加入いただきました。退職後の生活を多少なりとも豊かにするための場として、ご活用頂けると幸いです。

また、自分たちの生活を守り、そして若者たちに展望の持てる未来を引き渡せるように、民主主義を守る取組を一緒にすすめていきましょう！

川村喜美



憲法への想い

飯田清久



今から50年以上前の中学校の授業、憲法前文「そもそも国政は、国民の・・・」このくだりは全部暗記するように、必ず試験に出します。当時の社会科教師の意図やその内容がリンクと結びつけて理解できるようにになったのはもう少し後のこと。でも文意はすっかり記憶にインプットされ今に至っています。

高校時代は憲法とは全く無縁の放蕩生活の日々。それでもかろうじて3年生の秋校内弁論大会で「自由と責任」なるテーマで自治について語り一等賞。担任は共感「うんうん」と頷き、生徒指導の教師はちよっと苦虫かみつぶし顔だったよな。 大学は法学部だったことから憲法をそれなりにかじることに。当時第一線の研究者だっ

た小林直樹氏の「憲法講義」にアンダーラインを引くことも。学友たちと社研サークルを結成し、憲法を軸に教育法や社会心理学を青く語ったのもこの時期でした。この頃「10・21国際反戦デー」でデモ参加デビュー、安保条約廃棄を訴える学生デモの隊列にいました。この安保条約、今もなお憲法9条の平和主義と鋭く対立する存在となっています。

教員に採用になってからは、教師として組合員としてそして障害者運動をライフワークとする道のりにおいて憲法が大きな指針となってきてきたことは言うまでもありません。

最近憲法をとにかく変えたがる人たちが、やたら危機感をあおり大きな声を出しています。新聞やテレビもあからさまにそれらの代弁者になっていく今日ですが、日本国憲法は成立して間もない時期から改憲勢力の詭弁を弄した攻撃にあいながらも、平和、人権、民主主義をねがう人々の運動によって憲法の理念や条文が国民生活の中で具

体化され発展してきました。グレタさんは一人のストライキを始め国際社会を動かしました。高知の帯パラでは毎月11日フラワーデモが無言のアピールを続けています。学生の生活支援に青年自身が立ち上がり行動しています。沈黙せず声をあげることが、憲法を自分のくらしや人生と重ね合わせるスタートになることを教えてくれています。

日本国憲法を敵視する軽視する勢力のパフォーマンスをみると、次の憲法条文の持つ意味を今一度自分自身のエネルギーにしていきたいと思っています。「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって保持しなければならない」(第12条)、「この憲法が国民に保障する基本的権利は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であって、これらの権利は、過去幾多の試練に堪え、現在および将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託されたものである」(第97条)。私の好きな条文のひとつでもあります。大したことは何もできませんが、歴史や時代の変化

憲法への思いを共有しましょう
投稿のお願い
憲法改悪への強い動きが感じられる今、高退協事務局ではそれぞれの憲法への思いを伝えることにしました。一番手は飯田さんです。会員みなさんにも憲法への思いをぜひ投稿していただきたいです。スペースのきいた短文、深い思いのこもった長文、字数にこだわらず我も我もと投稿してください。
① 郵送 〒780-0850 高知市丸の内2丁目1-10 高知城ホール高教組気付 高退協 ニュース担当係
② メールで送信 kochi.koutaikyou@gmail.com